

2018.8.25 土 会場：福島稲荷神社 入場無料

会場にはキッチンカーや縁日コーナーもあります！

14:00 ~ ワークショップ

「石見神楽の舞の 道具をつくりましょう」

講師：益田市石見神楽神和会の皆さん

どなたでも
ご参加
いただけます

16:00 ~ シンポジウム

「神楽をめぐる」

出演：宮崎 泰己（益田市石見神楽神和会 会長）
懸田 弘訓（民俗学者）
丹治 正博（福島稲荷神社宮司）
森 幸彦（南相馬市鹿島区鎮座 伊勢大御神 宮司）

17:00 ~ 太鼓演奏

奉納太鼓

出演：山木屋太鼓「鴉」（福島県川俣町）

17:30 ~ 神楽上演 おひねり歓迎

石見神楽上演

出演：益田市石見神楽神和会

18:40 ~ 神楽上演 おひねり歓迎

「ふくしま未来神楽」奉納と発表

ふくしま未来神楽 第七番

「呆然漠然巨人」

監修：懸田 弘訓 森 幸彦
特別協力：福島稲荷神社 丹治正博宮司



会場ご案内図



■福島稲荷神社 福島県福島市宮町 1-29 駐車場 / 無



ご来場のみなさまへ

- 本イベントは雨天決行です。荒天時は一時中断・中止の場合もございます。
- 天候の変化に対応した服装や、水分補給をするなど各自で健康管理を行っていただき、熱中症等には充分気をつけていただきますようお願い致します。
- 会場内外で発生した、いかなる事故、事件、負傷等につきまして、主催者、会場、アーティストは一切責任を負いませんので、お客様ならびに保護者の方々の責任において対応していただきますよう、お願い致します。
- 車を運転される方、並びに未成年者へのアルコール類の販売は一切行いませんのでご了承ください。
- 貴重品等は自己管理をお願いします。会場内外にて発生した事故、盗難に関しまして一切責任を負いません。
- 本イベントでは、客席を含む会場内の映像・写真が公開されることがあります。予めご理解の上、ご来場ください。

撮影・記録：(株)ぶらっと Web 放送
デザイン：(有)デザインング・マープル

主催：未来の祭りふくしま実行委員会

〒960-8068 福島県福島市太田町 27-21
NPO 法人うつくしまランチ内 TEL:024-536-3103

特別協賛：一般財団法人ふくしま未来研究会

協賛：福島民友新聞社 福島民報社

◎その他ご協賛いただいた企業様、個人の皆様につきましてはホームページ並びに会場周辺にのぼり旗等で掲示させていただきます。

特別協力：福島稲荷神社 劇団 120〇EN

未来を祀る ふくしまを祀る



未来の祭り・ふくしま

Miraino Matsuri Fukushima

本 祀 り

2018 年 8 月 25 日(土)

会 場
福島稲荷神社

<http://www.mirainomatsuri-fukushima.jp/>



風が想うことは 風そのもの
吹くことを止めない 吹き続けること
あの日から私たちはずっと探してきた
語り得ることとは何か
災いは全く終息していない
もたらされない〈終息〉は 言葉を奪い続けた

否 ならば 私たちの〈息〉に祈ろう
祭りを捧げよう 語らう 叫ぶ 笑う
歌う 泣く たどりつく
声とは最も小さな私たちの風
新しい風はこないものか
清々しい風を知る人よ 求める人よ
それを待つのではない こちらから吹かせるのだ

「ともにふくしまからこえをあげる」

声という最も小さな 私たちの風よ
ともに未来を歩く 世界中の 日本中の
同じ〈息〉をする 仲間を誘って欲しい
光る虹のあしが 夜明けの野原を渡っていく
風の行方を見つめよう

発起人 和合亮一





未来の^{こころ}祀り・カフェ
2018

石見神楽

降臨再び

入場無料（おひねり歓迎）

会場 福島稲荷神社

石見神楽とは

石見神楽は石見一門で演じられる神楽である。

神楽は「神座（かむくら）」の語から 転じたものと言われる。

神座は神が降臨する場所のことで、そこに神々を招き、舞踊的要素を伴った鎮魂のための 行事をするのが目的。

その由来は古く、室町時代には石見一門で、大元神を信仰した田楽系の神楽が行われていた。江戸時代は神官がこの神楽を上演していたが、明治維新の神職演舞禁止令により、神官から土地の人々に受け継がれ、明治中期に新しい感覚が加わって大改正された。これは、芸術的な気品を与え、出雲神楽に劣らない 郷土芸能を育成しようとした試みであった。

託舞がその中心であったが、慶長年間出雲佐陀神楽が猿楽能を脚色して 神能として演ずるようになり、その佐陀神能が 爆発的に石見に波及した。

リズムは活潑な石見人の気性そのままに 勇壮な八調子とよばれるテンポになり、大太鼓、小太鼓、手拍子、笛のメロディーと リズムは聞く人を魅了し、金糸、銀糸の総縫いつぶしの絢爛豪華な衣装は視覚を夢の世界に誘い、舞手の厳粛な所作は神話の世界を再現させる。そのスケールの大きさとダイナミックな動きに 圧倒される「大蛇」は、世界各地に絶賛を博している。

演目は三十数種。出演する団体は百以上。今や地元の例祭への奉納はもとより、各種の催事、祝祭の行事に かかすことができない誇れる郷土芸能になっている。

島根県益田市観光協会ホームページより

ワークショップ

「石見神楽の舞の道具をつくりましょう」

時 間 午後二時から

講 師 益田市石見神楽神和会の皆さん

シンポジウム

「神楽をめぐる」

時 間 午後四時から

出 演 宮崎 泰己（益田市石見神楽神和会 会長）

懸田 弘訓（民俗学者）

丹治 正博（福島県稲荷神社宮司）

森 幸彦（伊勢大御神宮司）

奉納太鼓

時 間 午後五時から

出 演 山木屋太鼓「鴉」

神楽上演

時 間 午後五時三十分から

出 演 益田市石見神楽神和会

ふくしま未来神楽奉納

ふくしま未来神楽 第七番

「杲然漠然巨人」18:40～

入場無料・おひねり歓迎

会場 福島稲荷神社

◎作 和合亮一

◎演出 木村純一

◎舞台監督 関口修／盛藤隆伸

◎照明 佐藤康孝

◎監修 懸田弘訓／森幸彦

◎特別協力 福島稲荷神社 丹治正博宮司



参加アーティスト

※順不同

作 和合亮一（詩人）



福島市生まれ。「未来の祀り」発起人。詩人、中原中也賞、晩翠賞、みんゆう県民大賞、NHK東北放送文化賞などを受賞。2011年、東日本大震災直後からTwitterで『詩の囀』を発表し、同年5月、オランダのコンセルベリウムに招致、朗読にて福島への想いを発信するなど国内外から注目を集めた。昨夏にはフランスにて日本人初の詩集受賞。福島県教育復興大使、福島大学応援大使。

作曲・指揮 嶋津武仁（作曲家／福島大学名誉教授）



1949年静岡県下田市生まれ。東京学芸大学及び同大学院（作曲・指揮専攻）を修了。現在、福島大学名誉教授（作曲・指揮）／元福島大学附属中学校長／オーケストラ・フィルジッヒ芸術監督／福島オペラ協会理事／日本作曲家協議会、日本現代音楽協会会員。

神楽舞振付 橋正鳳



1950年生まれ。6歳の6月6日より、日本舞踊橋流入門。故橋左鳳延師に師事。高校卒業後、故二代目橋流宗家橋裕代師、三代目橋流宗家橋芳憲師に内弟子として修行。国立劇場、歌舞伎座、明治座、新橋演舞場、舞踊協会公演、新春舞踊大会、創作舞踊公演、海外公演等に出演。

舞踊指導 花柳沙里樹



一般社団法人伝統文化みらい協会理事長。2004年より文化庁助成「伝統文化子ども教室」を主催。門弟は新日本舞踊コンクールに於いて、2011年、2013年に文部科学大臣賞受賞。2013年より橋正鳳師と共に、福島の民俗芸能伝承を目的とする「ふくの里祭り」を主催。

演奏 山木屋太鼓「鴉」



平成13年に発足し、今年で結成15周年を迎える。結成当初から、変わることなく大切にしているテーマ「美しい自然、そしてここが故郷」現在、子どもから社会人までの打ち手約17名が、世代を超えて活動中。「鴉（からす）」は社会人のチーム構成。たくさんの支えや応援の中で和太鼓の活動ができることに感謝し、故郷の鼓動をこれからも伝え、発信していきます。

演奏 齋藤恭太（ヴァイオリン）



1957年福島市生まれ。県立福島高等学校在学中に管弦楽部を設立し、初代コンサートマスター。山形大学教育学部附設音楽科卒業後、宮城フィルハーモニー管弦楽団（現仙台フィル）でヴァイオリン奏者として活躍。震災後は東北各地で音楽の力による復興センター主催の復興コンサートに数多く参加。現在、フリーのヴァイオリニスト・ヴァイオリストとして演奏、後進の指導などで活躍中。

演奏・唄 藤野恵美（キーボード）



福島県岩瀬郡鏡石町生まれ。宇都宮短期大学音楽科電子オルガン専攻科卒業。ブライダル・セレモニープレイヤーとして活動後、現在はソロ楽器やセッションの伴奏、朗読舞台での即興演奏など鍵盤奏者として活動している。2015年はソロ音源「酒場マチルダ」を発表。

演奏 阿部なつ乃（フルート）



福島市出身。福島大学人間発達文化学類スポーツ芸術創造専攻卒業。高美ミュージックガレッジ専門学校コンセルヴァトアールディプロマ科修了。フルートを斎藤和志、岩田麻海の各氏に師事。現在、福島県警察音楽隊非常勤嘱託員をはじめ、福島県中心に演奏活動や後進の指導にあたっている。

衣装デザイン・製作 NorikoFerry



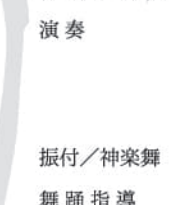
福島市生まれ。桑沢デザイン研究所ドレスデザインオートクチュール科卒。アメリカでフラメンコ、ペリダネスなどのステージ衣装、ブライダルドレスなど、数多くを手がける。枠を超えた発想と色彩感覚には定評がある。幼少の頃より日本舞踊を始め、横式部の名前を頂いている。

口上 酒飲亭いさん（社会人落語家）



北海道網走市出身。1975年東京都立大学入学と同時に落語研究会に入会「酒飲亭いさん」となる。積水ハウス入社。福島へ配属。250棟を建築販売。1992年より「うつくしま芸人会」に所属。2014年より会長。2007年「ふくしま素人落語の会」を仲間と設立。毎年100席以上の落語公演を行っている。会場の雰囲気に応じて古典、新作など臨機応変に対応。

作曲／指揮 嶋津武仁



演奏 山木屋太鼓「鴉」
齋藤恭太
藤野恵美
阿部なつ乃

振付／神楽舞 橋正鳳

舞踊指導 花柳沙里樹

神楽舞 ふくしまバトン

山崎未遼
馬場千佳
高田ひなの
宮島凜
石田 風
橋谷田晴
榊 芽生
北川結菜

川島ゆかり（劇団120〇EN）
奈良夏妃（劇団120〇EN）

照明助手 薄葉彩佳

口上



神楽舞／口上

清野和也（劇団120〇EN）
遠藤 晃（劇団120〇EN）
那須大洋（劇団120〇EN）
遠藤 航
岩井青都（劇団 瞬）
齋藤瑠偉
小田大輝
笹原温恕（伝統文化みらい協会）

書

切り絵
メイク

和合亮一

酒飲亭いさん
鈴木優斗（劇団120〇EN）
西片智紀（劇団カスカ・ダール）
乾優香里
サトウヤスタカ
大内悠生
佐々木宗吾
齋藤青空
三浦こころ

半澤紫雪
さとうてるえ
山田朝美

